

受章おめでとうございます

長年にわたり、社会のために尽力した叙勲などの受章者が発表され、市内では次の方々が受章しました。皆さん、受章おめでとうございます。

話題
街にひろう

平成25年秋の叙勲



*瑞宝双光章
(元 城東郵便局長)
藤原 節夫さん



*瑞宝双光章
(元 中小企業庁事業環境部
取引課統括下請代金検査官)
櫻井 宗近さん

*瑞宝単光章
(元 東京地下鉄(株)銀座
駅務管区長)
櫻井 一夫さん

*瑞宝単光章
(元 参議院参事)
岡山 豊さん

*瑞宝双光章
(元 衆議院参事)
柳澤 光治さん

*瑞宝小綬章
(元 東京消防庁消防司監)
三上 進さん

*瑞宝小綬章
(元 特許庁審判部審判長)
金子 茂さん

平成25年秋の褒章



*黄綬褒章
(現 今泉工業所自営)
今泉 武さん



*瑞宝単光章
(元 日本郵政公社職員)
松浦 敬さん

第21回危険業務従事者叙勲



*瑞宝単光章
(元 警視庁警部)
鴻池 静郎さん



*瑞宝双光章
(元 土浦市消防監)
唯根 昇さん



*瑞宝双光章
(元 警視庁警部)
宗像 一雄さん

*瑞宝単光章
(元 東京消防庁消防司令補)
本多 勝美さん

*瑞宝双光章
(元 警視庁警部)
平澤 隆幸さん



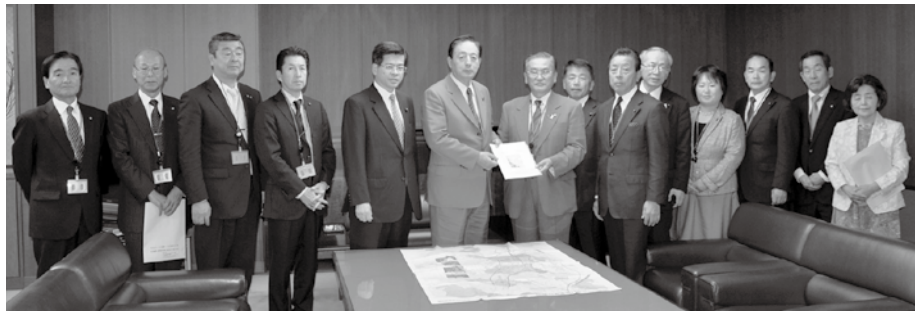
*瑞宝単光章
(元 東京消防庁消防司令長)
藤田 英美さん



*瑞宝単光章
(元 警視庁警部補)
高橋 重穂さん

※掲載の許可をいただいた方のみ掲載しています。

国道6号牛久・土浦バイパスの建設促進などを要望しました



要望書を直接手渡す池辺市長(写真中央右)

11月11日、池辺勝幸市長を会長とする牛久市、つくば市、つくばみらい市の3市による「牛久市・つくば市・つくばみらい市交通体系整備促進連絡協議会」の代表者は、太田昭宏国土交通大臣へ石井啓一衆議院議員同席のもと、国道

6号牛久・土浦バイパスの建設促進などについて要望活動を実施し、要望書を提出しました。

池辺市長は地域の実情や渋滞解消に向けた市の取り組みを説明し、国道6号牛久・土浦バイパスの建設促進を強く訴えました。これに対し太田大臣は、「徳山日出男道路局長とも相談し、工事を始めることを決めました」と池辺市長へ回答しました。

当日は、山越守牛久市会議議長をはじめ3市の議員が同行したほか、山岡恒夫茨城県議会議員もオブザーバーとして同行し、太田大臣に対し、地域全体で強く望んでいることを訴えました。



太田大臣(写真中央)への陳情
(写真左は石井啓一衆議院議員)

期間中、それぞれの作品を前に、作家と市内中小学校の児童・生徒が直接言葉を交わすことで、芸術と身近に触れることができる「小中学校鑑賞会」や、作品制作と一緒に楽しむワークショップ「うしく応援ソングを人前で踊ってみた!」のプロモーションビデオ撮影が同会場で行われました。

11月17日から12月1日まで、市中央生涯学習センターで「第19回うしく現代美術展」が開催されました。

この美術展は、地元の作家と市民が芸術を通して交流を図ることを目的に、平成7年から作家・市民・行政が協力して実施しています。



100号以上の大きな作品も数多く展示されました

うしく現代美術展開催



電気自動車に充電する池辺市長

この自動車は、日常的には一般公用車として使用しますが、災害発生時には蓄電池設備と併せ、施設への電源供給源としての役割が期待されています。市では今後も、環境にやさしく、非常時にも役に立つ電気自動車を公用車として活用していきます。

11月22日、市役所で電気自動車の納車式が行われました。市では、東日本大震災後、公共施設のエネルギー確保を検討しており、災害発生時の拠点と位置付ける「市保健センター」に太陽光発電、蓄電池設備と併せ、電気自動車から給電できる「パワーステーション」を設置しました。

緊急時、電気供給可能な
電気自動車を導入

42年間楽しい思い出をありがとう！

11月11日、岡田小学校で「お世話になった体育館への感謝の会」が行われました。同校の体育館は昭和46年に建築後、42年を経過したことに併せ、特殊な構造のため耐震補強工事が困難なことから、今回建て替えられることになりました。

子どもたちにとっても入学式や体育、集会活動など、さまざまな活動の場として活用してきた体育館。感謝の会では、子どもたち一人一人が、その思いや気持ちを体育館内に書きました。

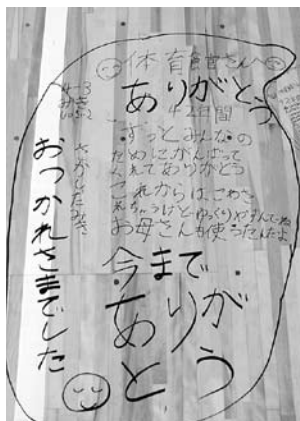
「わたしたちが入学したときか



別れを惜しんで、思い出を床に書きました



体育館の内部(上)と建て替え中の体育館(下)



児童からの感謝の言葉

から見守ってくれてありがとう。さみしいけど、さようなら」「楽しいことをいっぱい思い出したいよ。すてきな思い出をありがとう」など、児童たちは、感謝の気持ちをペンで書きました。代表委員で6年3組の藤井絢さんは「ドッジボール大会や縄跳び大会など、ここで作った思い出は絶対に忘れません」と体育館との思い出を話してくれました。

同校の新しい体育館は、平成26年3月に完成予定で、卒業式は新しい体育館で行われる予定です。

ふなの放流

自然との触れ合い



稲荷川にふなを放流する子どもたち

11月17日、稲荷川でふなの放流と自然観察の集いが行われました。このイベントは、牛久市、牛久沼漁協、NPOうしく里山の会、牛久ロータリークラブ、牛久市家庭排水浄化推進協議会が主催し、牛久沼周辺の自然に触れ、環境保全や水質浄化への気持ちを育む事を目的として行われたものです。当日は、約40人の市内小学生親子が参加し、元気なふなの稚魚200匹を放流。また、牛久沼に住む生物・魚などを観察する「自然観察の集い」も行われ、豊かな牛久沼周辺の自然を満喫しました。

いつもありがとうございます

園児からの贈り物

11月22日、牛久幼稚園のゆり組28人が市役所を訪問しました。

園児たちは、普段交通安全の指導をしてくれる交通安全教員



に「いつもありがとうございます お仕事がんばってね」と感謝の気持ちを伝えた後、お手製のクリスマスリースを渡しました。

税制改正に関する提言

11月27日、

(一社)竜ヶ崎法人会から池辺勝幸市長に、「平成26年度税制改正に関する提言」が手渡されました。



同会は、「経済活性化と中小企業対策」などの提言をしました。



中山安代さん、福田貞雄さん
(ともに牛久市)命名

牛久ホワイト
(白花)



熊澤佐知子さん
(牛久市)命名

牛久の夕映え
(オレンジ花)



高島マリ子さん
(牛久市)命名

うしくおとめ
(ピンク花)

牛久の菊・名称決定
11月に開催した「第4回うしく菊まつり」会場で募集した3種類の菊の名前が決定しました。応募総数83通の中から選ばれたのは、左記の名称です。

花で心豊かに！ふれあい美花市民の会

ふれあい美花市民の会では、心豊かな潤いのある活気に満ちた「美しい地域づくり街づくり」を目指して、市内20団体と幼稚園・小学校・中学校が一体となり毎年積極的に活動しています。地域では、花づくりを通しての三世代の交流も盛んです。

また、会では「牛久市花いっぱい運動コンクール」の開催や、花の知識・栽培技術の向上を図るための視察研修会、春の活動に向けての講習会なども開催しています。

さらに、大好きいばらき県民会議主催の「花と緑の環境美化コンクール」にも毎年参加しています。

「第24回牛久市花いっぱい運動コンクール」審査結果

賞名	ロード・地域団体の部	学校の部
会長賞	東みどり野シニアクラブ	中根小学校
特別賞	栄西シニアクラブ栄寿会	市立第一幼稚園
努力賞	小坂花の会 小坂団地「花・仲間・地域づくりの会」 むつみ区民会	牛久小学校 奥野小学校 牛久第二中学校 下根中学校 牛久南中学校
敢闘賞	岡田地域女性団体	市立第二幼稚園
アイデア賞	東猫穴秋桜の会	

※上記審査結果は、市ホームページでも写真入りで紹介しています。

「第41回花と緑の環境美化コンクール」審査結果

賞名	部門	団体名
大好き いばらき 県民会議 理事長賞	団体・職場	牛久地区婦人会

～新規団体随時募集中！～

問 市中央生涯学習センター ☎871-2301

寄付金のご協力ありがとうございます

11月26日、大相撲土浦・牛久場所実行委員会の折本明副会長から牛久市社会福祉協議会に20万円が寄付されました。「平成25年秋巡業大相撲土浦・牛久場所」は10月14日に開催され、牛久市からも多くの観客が詰め掛けました。



11月20日、牛久市商工会女性部から池辺勝幸市長に、ふるさと応援寄附金としてバザーの収益金3万円が寄付されました。この寄付金は、市の目指す「子育て日本一のまちづくり」のために使われます。



全国青年大会男子 バレーボールに出場



全国第3位となった「九鱗会」のメンバー

11月8日から10日に、「第62回全国青年大会」が開催され、牛久市を中心に活動している「九鱗会バレーボールチーム」が、9人制男子バレーボール大会に出場しました。

予選グループを通過した同チームは、見事決勝トーナメントに進出。残念ながら優勝には一步届きませんでした。全国第3位となりました。今後も各種大会での上位進出を目指し、九鱗会のメンバーたちは練習を行っていきます。

バトンクラブが 全国大会へ

全国大会へ

12月6日、バトンクラブの「クッキーズJrバトンクラブ」が12月7・8日に千葉県の幕張メッセで開催された「第41回バントワリング全国大会」の出場報告のため、市役所を表敬訪問しました。

同クラブに所属している向台小学校6年生の菊地郁香さんは「バトンを落とさないよう、笑顔いっぱい金賞を取りたいです」、岡田小学校5年生の渡邊菜里さんは「頑張つて、今までで一番良い演技をしたいです」と抱負を語りました。



バトンを手に報告に訪れた選手4人

ドッジボールで全国 各地のチームと交流



声を掛け合い戦う「牛久かつぱ〜ず。」

11月24日、牛久運動公園体育館で、「第10回牛久かつぱ〜ずドッジボール大会」が開催されました。

前大会から、日本ドッジボール協会の公認を得た市所有のカラークートを使用し、今年も全国各地から小学生32チームが熱い戦いを繰り広げました。

市内から参加した「牛久かつぱ〜ず。」は新しいユニフォームを着て出場。キャプテンの齋藤丈流さん(神谷小学校6年生)は、第1試合を勝利で終えて「次も勝ち進みたい」と意気込みを語りました。

大会は埼玉県の「岩槻ファイターズ」の優勝で幕を閉じました。

還暦野球秋季県大会結果

<11月2日〜4日、八千代町民公園野球場、28チーム出場>

牛久ゴールデンボーイズ(下写真)が決勝戦で日立球友に11対0で勝利し、見事優勝。全国還暦選抜大会への出場権を獲得しました。



第2回全日本選手権スポーツ吹矢大会

<11月7日、墨田区総合体育館、133人参加>

■個人戦 (敬称略)

クラス・順位		氏 名
女性8m (初段〜二段)	第4位	加藤 一代

※上位5人が準決勝に残りましたが、3位決定戦で敗れ、第4位となりました。

学校移動美術展開催



普段と違った授業に児童も大喜び

12月10日、牛久第二小学校で「学校移動美術展特別授業」が実施されました。

この企画は、市内小中学校で「うしく現代美術展」に出品している作家による作品の展示と制作体験を目的とした特別授業を併せて実施するものです。

今回の担当作家は洋画家の巖佐鈴奈さんと日本画家の一色直彦さん。「絵河童で願かけ」をテーマに5年生の児童たちが、絵馬に河童の大好物「キュウリ」の絵を描き、お願いごとをしました。サーフィンやサッカーをするキュウリなど、自由な発想で個性的な作品に仕上がりました。

いざというときに

安心の「救急ボトル」

10月28日、牛久ロータリークラブ（中川城子会長）から牛久市社会福祉協議会に、平成24年に引き続いて「救急ボトル」1000本が寄贈されました。

「救急ボトル」とは、一人暮らし高齢者の方などが本人の緊急連絡先や医療情報などを記載した情報シートを専用のボトルに入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくことで、体調を崩して救急車を呼んだ時に、駆け付けた救急隊員が迅速に対応できるようにするものです。この「救急ボトル」は、高齢者の方などの安心・安全のために活用されます。



緊急連絡先などを保管する「救急ボトル」

障害者連合会が

要望書を提出

12月11日、牛久市障害者連合会（櫻井勝利会長）ら7人が市役所を訪れ、池辺勝幸市長に要望書を提出しました。（写真）



同連合会は、障がいを持つ当事者や親の会など計8団体で構成されています。この日は、障害者への理解促進や相談支援機関の運営、障がい者の雇用場の確保など、障がい者や障がい者団体の力だけでは解決できない障がいに関する課題に対して、市が改善に向けて取り組むよう要望。池辺市長と牛久市の福祉行政について意見を交わしました。

歳末の助け合い運動

12月6日、牛久市仏教会による托鉢行脚が実施されました。募金箱を持って国道6号や牛久駅を歩いた一行は、最後に牛久市役所へ到着。

市役所内では、各フロアーを回って歩き、多くの市職員や来庁者が募金に協力しました。

多くの市民から寄せられた善意の募金29万5852円は、牛久市社会福祉協議会を通じて地域の支え合い活動や低所得者への支援などに使われます。



募金を手渡す牛久市仏教会の皆さん